



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 エン・ジャパン株式会社 上場取引所 大
 コード番号 4849 URL <http://corp.en-japan.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 孝二
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)太田 満広 (TEL)03(3342)4506
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,902	34.3	1,680	99.5	1,533	76.4	686	68.1
22年12月期第3四半期	6,631	—	842	—	869	—	408	—

- (注)1. 包括利益 24年3月期第3四半期 — 百万円(—%) 22年12月期第3四半期 — 百万円(—%)
 2. 決算の変更(12月31日を3月31日)に伴い、当期は平成23年1月1日から平成24年3月31日までの15ヵ月の
 変則決算となっております。当四半期については前期に適用していた12月決算の基準で開示をするため、包
 括利益を開示しておりません。
 3. 平成22年12月期第3四半期における対前年同四半期比増減率については、平成21年12月期第3四半期に四半
 期連結財務諸表を作成しておりませんので、記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3,100 75	3,097 10
22年12月期第3四半期	1,814 68	1,810 92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,833	12,831	86.5
22年12月期	14,612	12,334	84.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,831百万円 22年12月期 12,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	— —	0 00	— —	— —	1,130 00	1,130 00
24年3月期	— —	— —	0 00	— —	— —	— —
24年3月期(予想)	— —	— —	— —	— —	1,825 00	1,825 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期業績予想(平成23年1月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、第4四半期(累計)は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第4四半期(累計)	12,308	23.2	2,333	31.5	2,207	22.5	1,120	28.0	5,060 02
通期	15,580	—	2,780	—	2,685	—	1,384	—	6,252 62

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 2. 決算期の変更(12月31日を3月31日)に伴い、当期は平成23年1月1日から平成24年3月31日までの15ヵ月の
 変則決算となります。
 3. 通期の増減率については、比較対象となる金額がありませんので開示しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : ー

④ 修正再表示 : ー

(注) 決算期の変更(12月31日を3月31日)に伴う変則決算により、四半期は12月期決算の基準で開示をするため、③④については開示対象としておりません。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	245,954株	22年12月期	245,838株
24年3月期3Q	24,500株	22年12月期	24,500株
24年3月期3Q	221,423株	22年12月期3Q	225,109株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
【第3四半期連結累計期間】	P. 8
【第3四半期連結会計期間】	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報等	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低下した企業の生産活動も回復が進み、震災前の状態に戻りつつあります。しかしながら、米国、欧州の財政不安を起因とする急激な円高が続いており、国内経済の先行きは不透明な状況にあります。

雇用環境については、有効求人倍率、完全失業率ともに改善傾向にあり、緩やかな回復が続いております。

このような状況の中、引き続き当社グループは主力の「[en]社会人の転職情報」において、成功報酬型の求人広告サービス、「サーチ型採用ソリューション」の販売強化及び採用成功確率の向上に取り組ましました。

また、アジアでの本格的な事業展開のひとつとして、シンガポールに「EN-WORLD SINGAPORE PTE. LTD.」を設立し、2011年9月より人材紹介事業を開始しました。中期経営計画において重要施策と位置づけているアジア展開の一環として、子会社であるウォールストリートアソシエイツ株式会社の顧客基盤を活かし、事業を推進してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,902百万円（前年同四半期比34.3%増）、営業利益は1,680百万円（前年同四半期比99.5%増）、四半期純利益は686百万円（前年同四半期比68.1%増）となりました。

① 中途採用事業

「[en]社会人の転職情報」は、中途採用ニーズの回復を受け、掲載件数は前年同期比8.9%増となりました。また、サーチ型採用ソリューションの掲載件数は前年同期比176.3%増となりました。

「[en]派遣のお仕事情報」は、掲載事業所数にも改善が見られ、緩やかな回復が続いております。

「[en]転職コンサルタント」は、人材紹介マーケット全体としては回復基調にあるものの、一部の大手人材紹介会社に案件は集中しており、当社の主な顧客である中小の人材紹介会社は依然として厳しい状況が続いております。このような中、新たに人材紹介会社向けに「[en]社会人の転職情報」の一部データベースを共有するサービスを開始いたしました。成功報酬型であるため、利用企業は増加しており、成果も出始めています。

「[en]チャレンジ!はた☆らく」は、マーケットの需要が回復傾向にあることに加え、営業効率化を推進したことにより、好調に推移いたしました。

ウォールストリートアソシエイツ株式会社は、外資系企業の旺盛な採用意欲が継続し、堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,022百万円（前年同四半期比36.9%増）、営業利益は2,357百万円（前年同四半期比31.4%増）となりました。

② 新卒採用事業

2013年3月卒業予定学生向けサイト、「[en]学生の就職情報2013」は12月の本オープンに向けて営業活動を積極的に行いました。また、就活生向けセミナーの開催などにより、会員学生数は順調に増加しています。

当第3四半期連結累計期間における売上高は620百万円（前年同四半期比18.0%増）、営業損失は418百万円（前年同四半期は557百万円の営業損失）となりました。

尚、新卒採用事業の売上高及び営業利益の大半は、例年10月～11月に集中しておりましたが、今期につきましては12月～3月に分散する見込みです。これは、「採用選考に関する企業の倫理憲章」の改訂により、就職情報サイトのオープンが10月から12月に変更となったことによります。このため、当社の決算期も当期より12月から3月に変更しております。

③ 教育・評価事業

震災の影響により企業が人材育成投資を抑制する動きは徐々に改善しております。しかしながら、定額制研修サービス「エンカレッジ」は震災の影響による落ち込み分を取り戻すまでには至らず、期初想定よりも厳しい状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は176百万円（前年同四半期比19.0%減）、営業損失は24百万円（前年同四半期は12百万円の営業利益）となりました。

④ その他の事業

「エン・ウェディング」は掲載会場数を絞り、結婚式場への来場や問い合わせなどの効果を上げることに注力した結果、掲載単価の上昇につながりました。

クラウド型人事システム&給与計算アウトソーシング「FINE」は企業からの問い合わせは想定より多く寄せられたものの、受注の獲得は厳しい状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は83百万円（前年同四半期比213.5%増）、営業損失は234百万円（前年同四半期は407百万円の営業損失）となりました。

各セグメントの業績は以下の通りであります。

区分	第11期 第3四半期累計期間		第12期 第3四半期累計期間	
	自平成22年1月1日 至平成22年9月30日		自平成23年1月1日 至平成23年9月30日	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
中途採用事業	5,860,454	88.4	8,022,144	90.1
新卒採用事業	525,756	7.9	620,244	7.0
教育・評価事業	218,396	3.3	176,941	2.0
その他の事業	26,478	0.4	83,009	0.9
合計	6,631,085	100.0	8,902,339	100.0

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 連結会社間取引については相殺消去をしております。

3. 連結子会社であるウォールストリートアソシエイツ株式会社の売上高は、中途採用事業に含めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ221百万円増加し、14,833百万円となりました。これは、無形固定資産が増加したことなどが主な要因であります。

また、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ275百万円減少し、2,002百万円となりました。これは賞与引当金、固定負債が増加したものの、未払法人税等が減少したことが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ496百万円増加し、12,831百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は、891百万円となりました（前年同四半期比66.9%減）。これは、法人税等の支払額が1,210百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益1,369百万円、減価償却費518百万円、賞与引当金の増加224百万円があったことなどが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、441百万円となりました（前年同四半期比75.5%減）。これは子会社株式の追加取得による支出388百万円があったことなどが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、274百万円となりました（前年同四半期比83.9%減）。これは、配当金の支払額251百万円があったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の実績が計画を上回る結果となったことから、第4四半期連結累計期間の業績見通しは前回見通しより微増としております。しかしながら、今後の経済情勢が不透明であるため、売上高及び営業利益の通期連結業績予想は変更していません。

尚、経常利益及び当期純利益の通期連結業績予想につきましては、財団設立等により営業外費用が前回予想よりも増加したことから、下記の通り修正いたします。

平成24年3月期通期連結業績予想の修正

(平成23年1月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	15,580	2,780	2,732	1,420	6,414 06
今回予想 (B)	15,580	2,780	2,685	1,384	6,252 62
増減額 (B-A)	0	0	▲47	▲36	
増減率 (%)	0.0	0.0	▲1.7	▲2.5	

平成24年3月期第4四半期連結累計期間業績予想の修正

(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	12,240	2,200	2,131	1,080	4,880 38
今回予想 (B)	12,308	2,333	2,207	1,120	5,060 02
増減額 (B-A)	68	133	76	40	
増減率 (%)	0.6	6.0	3.6	3.7	
(ご参考) 前期実績 (平成22年12月期)	9,991	1,774	1,803	875	3,905 72

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① (一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② (固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ (法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に、経営環境等かつ一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に、経営環境等または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより当第3四半期連結累計期間における営業利益、経常利益は3,544千円、税金等調整前四半期純利益は7,791千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は8,201千円であります。

② 表示の方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(内閣府令第5号 平成21年3月24日)の適用により、当第3四半期連結累計(会計)期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,210,358	6,184,799
受取手形及び売掛金	1,303,609	1,241,579
その他	484,181	532,263
貸倒引当金	△14,295	△3,813
流動資産合計	7,983,853	7,954,830
固定資産		
有形固定資産	577,597	605,887
無形固定資産		
のれん	1,556,189	1,327,429
その他	1,081,640	1,028,207
無形固定資産合計	2,637,830	2,355,637
投資その他の資産		
投資有価証券	2,202,605	2,102,528
その他	1,474,273	1,656,305
貸倒引当金	△42,594	△62,749
投資その他の資産合計	3,634,284	3,696,084
固定資産合計	6,849,712	6,657,609
資産合計	14,833,565	14,612,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,878	49,158
リース債務	37,272	17,153
未払法人税等	119,440	699,030
賞与引当金	409,166	185,104
役員賞与引当金	4,165	—
その他	1,266,791	1,276,331
流動負債合計	1,868,715	2,226,777
固定負債		
長期未払金	62,289	35,536
リース債務	50,118	15,327
資産除去債務	21,168	—
固定負債合計	133,576	50,864
負債合計	2,002,291	2,277,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	972,552	970,929
資本剰余金	1,439,117	1,437,494
利益剰余金	13,652,260	13,144,766
自己株式	△3,438,187	△3,438,187
株主資本合計	12,625,743	12,115,003
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	215,046	169,944
為替換算調整勘定	△9,515	—
評価・換算差額等合計	205,530	169,944
少数株主持分	—	49,850
純資産合計	12,831,274	12,334,797
負債純資産合計	14,833,565	14,612,439

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,631,085	8,902,339
売上原価	1,151,924	1,392,605
売上総利益	5,479,160	7,509,733
販売費及び一般管理費	4,636,915	5,829,338
営業利益	842,245	1,680,395
営業外収益		
受取利息	20,867	16,036
受取配当金	22,500	30,000
持分法による投資利益	—	50,656
法人税等還付加算金	29,551	—
投資事業組合運用益	—	1,243
その他	13,190	8,645
営業外収益合計	86,109	106,582
営業外費用		
投資事業組合運用損	36,858	—
支払家賃	—	52,885
寄付金	—	130,000
その他	22,184	70,774
営業外費用合計	59,043	253,659
経常利益	869,311	1,533,317
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	10,000
特別利益	—	10,000
特別損失		
固定資産除却損	60,840	68,458
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,247
投資有価証券評価損	19,100	—
子会社設立費用	—	101,514
訴訟関連損失	26,554	—
特別損失合計	106,494	174,220
税金等調整前四半期純利益	762,816	1,369,096
法人税、住民税及び事業税	453,158	669,310
法人税等調整額	△100,846	△2,624
法人税等合計	352,311	666,686
少数株主損益調整前四半期純利益	—	702,409
少数株主利益	2,005	15,831
四半期純利益	408,499	686,578

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,409,613	3,162,155
売上原価	381,631	466,714
売上総利益	2,027,981	2,695,440
販売費及び一般管理費	1,663,864	1,978,680
営業利益	364,116	716,760
営業外収益		
受取利息	9,449	5,656
持分法による投資利益	—	23,648
投資事業組合運用益	—	3,356
その他	1,735	2,005
営業外収益合計	11,184	34,667
営業外費用		
投資事業組合運用損	3,503	—
寄付金	—	130,000
その他	8,084	63,165
営業外費用合計	11,587	193,165
経常利益	363,713	558,262
特別利益		
貸倒引当金戻入額	253	—
特別利益	253	—
特別損失		
固定資産除却損	—	4,684
特別損失合計	—	4,684
税金等調整前四半期純利益	363,966	553,578
法人税、住民税及び事業税	237,702	366,671
法人税等調整額	△57,867	△55,522
法人税等合計	179,834	311,149
少数株主損益調整前四半期純利益	—	242,429
少数株主利益	2,005	7,869
四半期純利益	182,126	234,559

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	762,816	1,369,096
減価償却費	584,943	518,985
のれん償却額	10,366	102,667
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13,192	△9,672
賞与引当金の増減額 (△は減少)	131,126	224,062
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	4,165
受取利息及び受取配当金	△43,367	△46,036
為替差損益 (△は益)	2,213	802
持分法による投資損益 (△は益)	—	△50,656
投資事業組合運用損益 (△は益)	36,858	△1,243
投資有価証券評価損益 (△は益)	19,100	—
固定資産除却損	60,840	68,458
法人税等還付加算金	△29,551	—
子会社設立費用	—	101,514
売上債権の増減額 (△は増加)	△71,278	△62,029
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,083	△17,279
未払金の増減額 (△は減少)	△91,894	△237,415
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	323,410	6,360
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△34,061	97,037
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△46,108	6,128
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	29,313	86,507
小計	1,614,452	2,161,452
利息及び配当金の受取額	50,724	41,379
法人税等の支払額	△49,526	△1,210,135
法人税等の還付額	1,078,543	—
子会社設立費用の支払額	—	△101,514
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,694,193	891,182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,200,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△242,459	△157,237
無形固定資産の取得による支出	△290,245	△219,295
投資有価証券の取得による支出	△1,000,000	△30,361
投資有価証券の売却による収入	4,650	7,584
関係会社株式の取得による支出	—	△159,679
関係会社株式の売却による収入	56,190	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,466,771	—
子会社株式の取得による支出	—	△388,708
敷金及び保証金の差入による支出	△279,175	△82,126
敷金及び保証金の回収による収入	4,986	288,221

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
保険積立金の積立による支出	—	△6,456
貸付けによる支出	—	△3,000
貸付金の回収による収入	211,563	11,846
その他の支出	—	△1,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,801,261	△441,017
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△31,992	—
長期借入金の返済による支出	△85,352	—
株式の発行による収入	2,372	3,246
自己株式の取得による支出	△1,399,800	—
配当金の支払額	△189,299	△251,213
少数株主への配当金の支払額	—	△8,400
リース債務の返済による支出	△10,336	△18,240
少数株主からの払込みによる収入	3,478	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,710,930	△274,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△818,001	175,559
現金及び現金同等物の期首残高	6,214,449	5,884,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,396,448	6,060,358

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

	中途採用 事業 (千円)	新卒採用 事業 (千円)	教育・評価 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	2,148,985	172,490	69,014	19,122	2,409,613	—	2,409,613
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,148,985	172,490	69,014	19,122	2,409,613	—	2,409,613
営業利益又は営業損失 (△)	690,882	△ 168,725	△ 2,254	△ 155,785	364,116	—	364,116

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) 中途採用事業……[en]社会人の転職情報、[en]転職コンサルタント、[en]派遣のお仕事情報、[en]本気のアルバイト、テスト、人材紹介、人材派遣

(2) 新卒採用事業……[en]学生の就職情報、テスト

(3) 教育・評価事業……教育・評価

(4) その他事業……[en]グリーン・ウェディング、FINE、その他

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	中途採用 事業 (千円)	新卒採用 事業 (千円)	教育・評価 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,860,454	525,756	218,396	26,478	6,631,085	—	6,631,085
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,860,454	525,756	218,396	26,478	6,631,085	—	6,631,085
営業利益又は営業損失 (△)	1,794,580	△ 557,510	12,543	△ 407,368	842,245	—	842,245

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) 中途採用事業……[en]社会人の転職情報、[en]転職コンサルタント、[en]派遣のお仕事情報、[en]本気のアルバイト、テスト、人材紹介、人材派遣

(2) 新卒採用事業……[en]学生の就職情報、テスト

(3) 教育・評価事業……教育・評価

(4) その他事業……[en]グリーン・ウェディング、FINE、その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

在外支店及び重要な在外子会社がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、インターネット上での各種求人広告サイトの運営を主力事業として展開しております。この他、採用後の人材教育、人事評価に至る人材戦略コンサルティングも行っております。

したがって、当社は、経営組織の形態とサービスの特性に基づいて、「中途採用事業」、「新卒採用事業」、「教育・評価事業」の3つを報告セグメントとしています。

各セグメントの主なサービスは以下の通りです。

- (1) 中途採用事業……[en]社会人の転職情報、[en]転職コンサルタント、[en]派遣のお仕事情報、[en]チャレンジ!はた☆らく、テスト、人材紹介、人材派遣
- (2) 新卒採用事業……[en]学生の就職情報、テスト
- (3) 教育・評価事業……教育・評価、エンカレッジ、テスト

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	中途採用 事業	新卒採用 事業	教育・評価 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,022,144	620,244	176,941	8,819,330	83,009	8,902,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,022,144	620,244	176,941	8,819,330	83,009	8,902,339
セグメント利益又は 損失(△)	2,357,918	△418,523	△24,833	1,914,561	△234,166	1,680,395

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない、エン・ウエディング及びFINEであります。
 2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	中途採用 事業	新卒採用 事業	教育・評価 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,902,383	175,248	55,591	3,133,222	28,932	3,162,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,902,383	175,248	55,591	3,133,222	28,932	3,162,155
セグメント利益又は 損失(△)	944,227	△147,647	△9,051	787,528	△70,767	716,760

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない、エン・ウエディング及びFINEであります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「中途採用事業」セグメントにおいて、ウォールストリートアソシエーツ株式会社の株式を追加取得し、完全子会社化いたしました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間においては331,427千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。